

マイナスの長期金利について

日本銀行は市中銀行の日銀に預ける当座預金の金利をマイナスにした。これによって当座預金へ預けるのではなく、市中銀行が融資にお金をまわしたり、債券や株式に資金を振り向けることを期待したようである。マスコミは指摘しないが、実際は、当座預金に金利がマイナスならば、日本銀行に市中銀行は預金を預けたくなくてやめる方法はないのかという意見もでてきているようである。

この数ヶ月長期金利つまり10年物国債の金利がマイナスになっている。これはどういうことかということ、国の借金である国債を放っておくだけで、借金が減っていくことである。国債を購入した金融機関や個人は国債をもっているだけで、金利がつくどころではなく国に貸している債権が目減りしていくということである。

平成28年5月2日

佐藤 賢一